

友 ～旅立ちの時～

友 今君が見上げる空は
どんな色に見えていますか？

友 僕たちに出来ることは
限りあるかも知れないけれど
確かな答えなんて

何一つ無い旅さ

心揺れて迷う時も

ためらう気持ちそれでも

支えてくれる声が

気付けば

いつもそばに

友 進むべき道の先に

どんなことが待っていても

友 この歌を思い出して

僕らを繋ぐこの歌を

明日の行方なんて

誰にも分からないさ

風に揺れる花のように

確かめ合えたあの日の
約束胸に信じて
未来へ 歩いてゆくよ

Wow 遠く遠く

Wow 終わらない夢

Wow 強く強く

Wow 新たな日々へと旅立つ時

友 さようならそしてありがとう

再び会えるその時まで

友 僕たちが見上げる空は

どこまでも続き 輝いてる

同じ空の下

どこかで僕たちは

いつも繋がっている



あなたへ

旅立ちに寄せるメッセージ

白木蓮にも似た
その白い翼で
まだ見ぬ世界、未来という
果てしない空へ
旅立ってゆくのですね
まばゆいほど輝いて
旅立ってゆくのですね
温かな巣をあとにして

愛と涙 そして知るだろう
人生という名の迷路の果てに
信じあえることの喜びと
悲しみをしった分
優しくなれる事を

いろんなことがあって
自分を嫌いになった
なぜ僕だけが
こんな目に逢うと
他人を羨んだりもしたさ
荒んだ心に刺さったのは
意外な奴の言葉だった

もう一度
もう一度あの空を
飛べるかもしれないと思った

張り裂けるような
悲しみの行き場
煮えたぎるような
憎しみの出口
時よ お前は見てきたのだろう
憎しみの極みを
戦いの果てを

時の女神よ
教えてください
握り合えない
手と手ならば
隔てる心の壁がいつか
癒され なくなる日は
くるのでしょうか

手と手をつなぎ
その手をかざそう
人生という名の迷路の果てに
信じ合えることの喜びと
悲しみを知った分
優しくなれる

愛と涙 あなたの手の温もり
人生という名の迷路の果てに
信じ合えることの喜びと
悲しみを知った分
優しくなれる

